

いわせ

第77号
退職校長会
岩瀬支部
渡邊真二

就任の御挨拶

渡邊 真二



この度、令和六年度福島県公立学校退職校長会岩瀬支部総会役員改選におきまして、引き続き支部長に推戴いただき、就任いたしました。

昨年度は、総会以降にコロナが五類となり、多くの皆様のご助言をいただきながら、総会で承認いただきました活動を執行できました。つまり岩瀬地区退職校長会会員のために、また、本会の目的である、「地域教育の向上」達成のために、退職校長会が貢献できたものと信じています。

会員相互の交流活動、クラブ活動。そして生き生きとした姿が広報され、紙面を通して交流できました。「広報を楽しみにしている」という会員の方がたくさんおられます。また、昨年度は、岩瀬地区と

して県退職校長会郡山大会実行委員として参画し、県内各地から参加された皆様と交流できました。

地域貢献として、退職・現職合同研修会も通常どおり実施できました。現職校長先生への情報提供ができたものと、各グループを回りながら感じました。そして、tetteスクールジュニア事業「寺子屋」講座、十七字で奏でよう、ふれあい支援事業、子どもの祭典などに貢献しました。これらの貢献活動で、子どもたちから直接の感謝の言葉、あるいは、お会いした方々から、過分な感謝の言葉をいただきました。合わせて、高齢者叙勲、死亡叙勲、告別式弔辞など、地教委様、喪主様から繰り返し、過分なお礼の言葉をいただきました。明確に退職校長会の存在価値を感じました。

今年度も会員の皆様のご理解とご支援をお願い申し上げます。支部長の御挨拶といたします。

令和六年度 支部総会

四月十三日(土)に、令和六年度福島県退職校長会岩瀬支部総会が、須賀川市教育研修センターで開催されました。

ご来賓として、福島県公立退職校長会事務局長の坂爪靖夫様、天栄村教育長の長場壮夫様、地区小・中学校長協議会会長の熊田順一郎様、副会長の中瀧宏昭様のご臨席をいただきました。

昨年度の物故者五名への黙祷が捧げられた後、渡邊真二支部長から挨拶があり、新会員七名が紹介され、お一人お一人からご挨拶をいただきました。今年度は、百二十一名の会員でスタートしました。

議事では、議長に川崎勝久氏を選出し、令和五年度庶務会計報告、令和六年度の事業計画・予算案等が満場一致で承認されました。

また、今年度は一部の役員改選が行われました。選出された役員は、本紙面に掲載されております。退任されました役員



員・理事の皆様には、永らくご尽力いただきましたことに厚く御礼申し上げます。

令和六年度 岩瀬支部事業計画

①総会の開催 (四月)

※懇親会は中止

②県退職校長会二本松大会 (六月)

③広報「いわせ」発行 (年二回：七月、十二月)

④退職・現職校長研修会 並びに懇談会 (八月)

⑤研修会の開催(功績調書作成の促進、研修行事)

⑥教育委員会訪問 (八月)

⑦会員の健康増進、相互の交流・親睦を図る活動

○「ゴルフ」、「グラウンド・ゴルフ」、「囲碁」の三クラブの活動

○社会貢献、各種ボランティア活動の推進

tetteスクールジュニア事業「寺子屋」講座

・子どもの祭典でのブー

ス出展

⑧全国及び県事業への協力

⑨役員会、理事会、広報委員会、功績調書作成委員会の開催(随時)

令和六年度 岩瀬支部役員

顧問 八木沼智恵子 川田 昌利

支部長 渡邊 真二

副支部長 阪路 裕 須田 元大

監事 芳賀 孝美 石山 晃司

庶務 安田 柳一 菅野 哲哉

会 計 服部 秀夫 善方 威浩

理事 熊田 賢一 永瀬 功一

内山 博行 川崎 勝久

渡邊 真二 薄井 英一

須田 元大 長谷川 幸三

古田 浩 佐浦 雅明

春山 晃祥 高橋 光雄

小貫 崇明 高原 孝一郎

広報委員 安田 柳一 菅野 哲哉

功績調書作成委員会 安田 柳一 菅野 哲哉

須田 元大 菅野 哲哉

「十七字のふれあい」事業

岩瀬地区審査委員

渡邊 真二 本多 淳嗣

松山 祐介 関根 勝志

遠藤 彰 馬場 廣明

善方 威浩(県)

「躰（しつけ）の三原則」に思うこと

岩瀬地区小・中学校長協議会 会長 熊田 順一郎

哲学者であり教育学者でもある森信三氏の教えに「躰（しつけ）の三原則」があります。

- 1 朝、あいさつをする
- 2 「はい」とはつきり返事をする
- 3 履物を脱いだら必ず揃える

この三つのことを徹底してしつければ、きちんとした人間に育つというものです。

教育特集

狸森の小さな学校から

須賀川市立天森小学校 校長 佐藤 克浩

本校は、山あいに位置する児童数三十五名の小さな学校です。時々タヌキやリスが遊びに来てくれる日本の原風景のような場所に立地しています。現在は複式学級での授業になっていますが、昭和三十年代は児童数が五百名を超えていた時期もあったそうです。そんな本校の一番の自慢は、澄んだ瞳と素直な心をもつ子どもたち。100%教師を信じてくれているその瞳を前にすると心洗われる気持ちに。

また、本校の子どもたちはたくましさももち合わせています。今年度百五十周年を迎えるにあたり、郷土芸能「自奉

あいさつは「信頼関係の第一歩」です。心を相手に向けることに意味があります。相手の存在を認める基本的な行動です。

返事は「尊敬の第一歩」です。相手を受け入れ、大切に、人の話を聴く心の準備です。

このように、あいさつは自分からの投げかけ、返事は相手の受け入れ、この二つは人間関係の大きな基盤となります。

物事にははじまりと終わりが

があります。脱いだ履物をそろえるということは「けじめの第一歩」であり、物事の締めくくりをきちんとすることにつながります。自分を律するという点で自制・自律を意味します。

しつけは、子どもが将来、一人前の立派な社会人として生き抜き、活躍していくために必要なものです。それゆえ「これらをしっかりと身に付けることが、これからの社会を生き抜く力を磨く第一歩」と考え、繰り返し指導し、徹底を図るよう努力しています。今後も社会人の基盤としての「しつけ」を大切にしたいと考えています。

「自奉楽」とは旧正月に奉納される、二百七十年の伝統をもつ子どもの踊りです。未永く継承していくことができよう、今年度はしっかりとその基礎をつくってまいりたいと考えております。

なりたい自分になる

須賀川市立岩瀬中学校 校長 高橋 英一

岩瀬中に赴任し二年目を迎えました。本校の特長の一つは、とても開放的な校舎です。広々とした吹き抜けの校舎に充実したスペースや教室等が備わっています。そこに季節

に応じた飾り付けをすることで、子どもたちは季節を感じ、心癒されながら生活しています。そのような環境の中での学校生活はとても充実したものであるため、生徒たちは日々感謝の気持ちを持って学習や生活をしています。

ある校長先生には「あんなに広い校長室で考えていたらすばらしいアイデアしか浮かばないだろう」と言われませんが、生徒のため、地域に恩返しのためにも精一杯学校経営に取り組んでいきたいと考えています。

子どもたちへは「なりたい自分になる」というスローガンを伝え二年目となりました。常に目標を意識し、一年後や卒業時、二十歳の自分をより具体的にイメージして「なりたい自分」を追い求めてほしいと伝えていきます。これは本校の課題である、子どもたちの主体的な活動にもつながるよう教職員にも意識していただいているものです。

夢を追いかけるために目を輝かせ、夢中になって取り組む岩中生の姿が多く見られるよう、学校経営に取り組んでいます。

コロナ禍を経て

鏡石町立鏡石幼稚園 園長 薄井 英一

昨年度から、コロナ禍以前

の形に戻して、行事や活動を実施しています。

「俳句教室」

昨年度から新たに「俳句教室」を実施しています。子どもたちの言葉や季節に対する感覚を磨くのに適しており、秋の町文化祭にも出品しました。

三句紹介します。どの句も細かな観察力が感じられます。さつまいも つるをひっぱれ つなひさだ ともだちと あらってたべるとまと二こ とんばがね おそらにいっばい おにごっこ

「夏まつり会」

引き渡し訓練を兼ね、参加者の人数制限なしで実施しました。お店屋さんごっこやかき氷屋さん・キッチンカーの出店協力で楽しい一日でした。

「運動会」

人数制限なしで卒園児や来賓・祖父母参加の競技種目を復活させました。「パワー全開、スマイルいっぱい、心を一つに運動会」をスローガンに、全力で頑張りました。

「オランダ・秋まつり」

四年ぶりの開催となり、メインステージでよさこい演舞を全園児参加で披露しました。

「生活発表会」

入替え・人数制限なしで実施し、他の友達と共に演じる喜びや楽しさを感じることができました。

会員の近況

「今やりたいと思っ
ていることを・・・」

稲奈 貞夫

ロードバイクに乗り始めて十二年目になります。きっかけは校長会先輩の S 氏（師匠）の熱いお誘いでした。

これまでツール・ド・猪苗代や那須高原ロングライド、ツール・ド・さくらんぼ、新潟シテイライド、佐渡ロングライド、美瑛センチュリーライド等の大会への参加や琵琶湖、しまなみ海道、能登半島、房総半島、霞ヶ浦、富士五湖、安曇野、宗谷稚内等への輪行ライドを師匠と共に行ってきました。更に今年は淡路島一週を検討しているところです。

退職後は一時間程度のライドを日課にしています。一年間では三千〜三千五百キロ程になります。結果的には健康維持にも役立っています。それが目的というわけではなく、風を受けて走っている時の爽快感がすべてだと思います。

日々加齢による身体の衰えは感じていますが、もう無理

と自分で思うようになるまでは乗り続けていきたいです。

知のリハビリと子ども浴

佐藤 安喜

定年退職から五年が経ちます。その間、保育所、図書館に勤務し、今年四月から須賀川三中で支援員としてお世話になっていきます。

三中には、古い思い出があります。大学を卒業した年、講師の職で赴任したのがこの学校です。校長室に掲額された校長先生の顔写真が、遠い記憶を呼び起こしてくれます。よく初めて勤務した学校が、その後の教職人生を左右すると言われますが、私もその一人でした。

私は今、三中で、各学年の国語や数学、英語等の授業で子どもたちの支援にあたっています。それぞれの教科に接していると、納得する新たな気づきがたくさんあります。学び直しをしている気持ちになります。もしかすると、それは「知のリハビリ」かもしれません。樹木の香気を浴びる森林浴のように、学校での

「子ども浴」にも何らかの効果があるような気がします。こんな思いで毎日働いています。

「退職して五年目」

山田 克行

須賀川市生涯学習インストラクターとして、東公民館に二年、稲田公民館に一年勤め、令和五年の組織改編に伴い、公民館がコミュニティセンター（CC）になりました。インストラクターは、須賀川市民交流センターにて所属し、二年目になります。

公民館では、成人・高齢者教育（健康・法律・音楽・創作等）、家庭教育（年賀状作成・天体観測・和菓子作り・ガラスキューブ制作等）、ジュニアボランティア養成の各講座、山野草展やGゴルフ交流会、インディアアカ大会、文化祭等の事業の企画運営を担当しました。しかし、公民館の三年は、コロナ禍のために講座等の中止や延期を余儀なくされ、苦慮したことを思い出します。

生スポでは、各CCの成人・家庭教育講座に向かう（一人で二CC、三・四人で

八CC）とともに、tetteファミリー講座の企画運営・成人教育講座のサポートに携わっています。

今後、生涯学習の推進に最善を尽くしたいと思っています。

好山病？

池上 雅

今年度、定年退職後、三か所目となる職場に異動となった。新たな業務に慣れず、昨年度はかかっているものの、昨

年から獲得した山バッジの数は、約三十個。登った山の数は、それ以上、月五山以上のペースである。バッジコレクターでもないのに、山開き当日の登山は、約三十年ぶり。低山が多いので、適度な運動をしながら心身の疲れをとるアクティブレストにもなっている。

この時期は、新緑がきれいで、空気も清々しく、コシアブラやフキなどの山菜が豊富で、おいしくいただけます。山の麓には温泉があり、汗を流すのもちょうどいい。山のおかげで、初めて知った温泉もたくさんある。

これからも、自分の時間を

と楽しんでいけるよう、今はモノや人とかかわりを少しずつダウンサイジングしているところである。

佐久間利則

小塩江中学校を最後に退職しまして、早三年。私立の幼稚園にて（校種は違います）が、これまで培ってきたものを若い人達に継承すべく奉職しております。

しかしながら退職したら「旅に出たい」との思いがあり、さらに強まってきた。この芭蕉翁の「予もいづます」として出た奥の細道の旅に習い、私は四国巡礼八十八カ寺参り（お遍路）を敢行し、結願いたしました。

一人で歩く旅では、見る物・出会う人みな「初めまして」です。驚きばかりでした。二か月近くも続けていくと弘法大師に近づき、芭蕉翁の思いを感じ、四国の人々の「お接待」サポートをありがたく

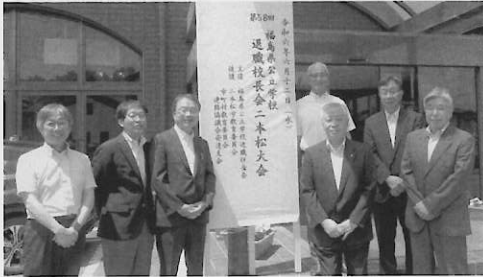
味わうことができました。「福」を

県大会報告

第五十八回福島県公立学校退職校長会二本松大会の記録

六月十二日(水)二本松御苑において、退職校長会の県大会が開かれ、岩瀬支部から七名が代表して大会に参加いたしました。

午前中は、「生きることとは描くこと、生きることは演じること」と題して、日本画家の大山忠作氏の長女である大山采子氏が講演を行いました。午後の代表支部の体験発表は、石川支部・耶麻支部・いわき支部が行いました。両諸先輩方の活躍されている姿に感銘を受けました。大会運営に当たられた二本松支部の皆様にご報告と感謝申し上げます。



クラブ活動計画

ゴルフクラブ

ゴルフクラブは、月一回のコンペ開催を目標に活動しています。

これまで二回のコンペを行いました。その中で吉田尊夫先生、小松善二郎先生がエイジシュート(年齢以下のスコア)を達成しました。クラブ最高齢のお二人ですが、ゴルフの腕前はもちろん、本当に元気に参加されています。



《コンペの結果と予定》

グラウンド・ゴルフクラブ

地域の活性化を図るとともに、会員相互の親睦と健康づくりを育むことを目的としたグラウンドゴルフの大会が多く開催されています。

グラウンドゴルフは「いつでも、どこでも、誰でもできるスポーツ」として普及しており、高齢者の体力づくりにもってこいのスポーツです。今年度も東コミュニティセンターの協力で月一回、第二、第三水曜日の午後一時から約二時間開催することができま

○五月十四日 宇津峰CC

優勝 菊池 進

準優勝 須田 元大

三位 久保 直紀

※吉田先生エイジシュート(十五名参加)

○六月十一日 白河国際CC

優勝 東条 正記

準優勝 小松善二郎

三位 久保 直紀

※小松先生、吉田先生エイジシュート

(十六名参加)

○七月二十三日

矢吹GCでコンペ開催予定

○九月一日

退職・現職校長親睦コンペ開催予定

○十月上旬

コンペ開催予定

(菊池 進)

す。七月十日は第一回の大会、九月十八日は第二回の大会、十一月二十日は納会の大会を実施する計画です。

クラブを握り、ポールを見つめ、ホールインワンをした時の喜びは最高です。

プレリーの合間や休憩時間の会話はお互いの情報交換などで楽しさを増やしてくれます。

これからも仲間とのつながりを大切に、会員相互の親睦と健康づくりを育むよう努力して、元気で充実した生活を続けたいものです。

多くの会員の皆様の参加、

特に新入会員の皆様の参加も歓迎です。(吉田尊夫)

囲碁クラブ

本年度も少人数ながらも活動を開始しました。活動日は毎月第四水曜日ですが、十二月、二月、四月は第三水曜日に活動します。場所は、風流のはじめ館のハナミズキの間です。



今のところ四名のメンバーで、高齢ですが楽しく活動しています。もう少しメンバーがいると、碁の楽しみ方もいろいろ増加してくると思います。

退職してから、人生をどう過ごしていくかについては、いろいろと考え方の違いがあると思いますが、共通して言えることは、何か趣味を持つて生きることが有意義であるように思います。私自身、碁に取り組んでいると、碁の面白さとは別に、その一日を「生きた」という実感がわいてきます。

退職された校長先生方、碁に挑戦してみてもどうですか？高齢になってから碁を始める方も結構います。風流のはじめ館で待っていますので是非おいでください。

(東条正記)

賀詞 おめでとうございます

高橋 專 治 氏

(昭和十一年三月二十日生)

岩井 肇 氏

(昭和十一年五月四日生)

渡邊支部長がご自宅を訪問し、ご本人に賀詞をお届けしました。

新入会員紹介

松山 祐介 様

前須賀川市立第二小学校校長

善方 威浩 様

前須賀川市立柏城小学校校長

馬場 廣明 様

前須賀川市立西袋中学校校長

関根 勝志 様

前須賀川市立大東小学校校長

遠藤 彰 様

前須賀川市立第二中学校校長

菅野 哲哉 様

前須賀川市立第一小学校校長

大河原正道 様

鏡石町立第一小学校長(特例任用)

お願い

会員の皆様からお預かりした功績調書基礎資料を、高齢者叙勲、死亡叙勲事務等に地教委に情報提供しています。未提出の会員の方は、提出のご協力をお願いします。